

福岡みらい病院で

リハビリテーションを受けられた患者様へ

当院リハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟におけるFIM移乗項目（ベッド・椅子・車椅子）の経時的変化と転倒リスクの関連
当院の研究責任者（所属）	高橋 真紀（リハビリテーション科） 古川 大将（リハビリテーション科）
本研究の目的	FIM移乗項目（ベッド・椅子・車椅子）の経時的変化と転倒リスクの関連を認知機能の違い（非認知症患者と認知症患者に層別）によって比較し、検討することで移乗と転倒に関連があるか、さらにその関連性は認知機能によって異なるかを明らかにします。
調査データ該当期間	西暦 2023年4月1日～西暦2025年3月31日
研究方法	●調査の対象となる患者様 医療法人相生会福岡みらい病院の回復期リハビリテーション病棟に入院した運動器疾患と脳血管障害の患者様。 <電子カルテに記載のある診療情報> 特に、侵襲等を含む介入を必要とせず、通常の診療範囲内で入院中に取得された情報（主要疾患および併存疾患等の医学的情報、病棟内で活動度および自立度に関する情報、入院時カンファレンスで取得される生活背景に関する情報、入院中に定期的に実施されるリハビリテーション評価に関する情報）を使用します。
個人情報の取り扱い	対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）としては、データは被験者が特定できないように、研究実施責任者の厳重な管理の下で、被験者番号を付して連結可能匿名化しエクセルファイル内にて保管します。本研究に関する学会や論文等での成果発表においては、個人を特定できる形での発表は一切行いません。 保管期間は研究終了後 5年間とし、破棄する際はデータを復元不可能な状態に処理して破棄します。
本研究の資金源（利益相反）	本研究実施にあたり特に費用は使用しません。なお、研究参加の謝礼はありません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 リハビリテーション科 電話：092-662-3001（代表） 研究責任者：高橋 真紀・古川 大将